7月　学校だより　渡子小学校

平成21年6月30日
校長　長江留理子

7月（文月）

夜空を見上げると，東の空に大きく三つの星があります。これが「**夏の大三角**」です。ほぼ直角三角形で，直角の核に当たるところが，**こと座のベガ（織姫星）**，その南側にあるのが，**わし座のアルタイル（彦星）**です。そして，天の川の上に羽を広げて，二つの星を橋渡ししてくれているのが，**はくちょう座のデネブ**です。織姫と彦星が文を交わす七夕にちなんで，７ 月は文月といいます。

感謝 ！





６月の参観日には，昨年に続き，卒業生達・保護者・地域の方々のご協力を得て，プールの掃除を行いました。子ども達は，大人のだんどりや手際のよさ，そして仕事ぶりに学び，つられて一生懸命掃除をしました。学校だけでは，なかなか速くきれいにはいきません。改めて皆様のお力の偉大さを感じ，感謝の気持ちを強く抱きました。きれいなプールがよみがえり，この夏の水泳が気持ちよくできます。ありがとうございました。

感謝についての学び

渡子小学校では，道徳教育を中心にして，自然や人とのかかわり，体験活動等を通して『豊かな心』をはぐくんでいます。先日，５・６年生は，道徳の時間に「感謝」について学習しました。最後に，教師がこんなエピソードを紹介しました。

東京の郊外にある団地に住む一人暮らしのお年寄りの家を，子ども達が週２回登校前に訪れ，ごみ出しをしている。団地にはお年寄りが多く，足腰が弱ってきたり，目が不自由になったりして階段の上り下り（エレベーターがありません）にも困っている人が多い。そして，一日中，だれとも会話をしないことも多い中，子ども達が訪れることは，楽しみであり，ごみ出しをしてくれることに対して感謝の気持ちが大きい・・・という話です。

子ども達は，自分の生活をふり返り，発表します。学校で子ども新聞を貼りかえる係の仕事をしているが，みんなが楽しんで読んでくれている，家で，皿洗いをして「きれいになったね」と言われた，回覧板を持っていくと近所の人に「ありがとう」と言われた，卵焼きをしたら家の人に「おいしい」と言われた，家の人がしていることをしたら「大変だったでしょう」と言われた・・・などなど。子ども達は，そうした自分のしたことに「ありがとう」や「助かる」と言われ，感謝されることで，役に立っている自分を感じ，感謝の価値観について実感を伴って深く学んでいくのです。

７ 月１８日から４５日間の夏休みが始まります。普段の生活ではできないような体験をして，家族や地域との絆を深める，心に残る夏休みにしてほしいと思います。